



産直ニュース（農・畜・水産）47週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。

生活クラブ関西

*納品書「次週以降のお届け」が上手く機能していません。果物類お届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協 事業所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
47週	登録いちごA(!)		予約みかん⑦			富有柿②(大阪・京都・奈良)			
						ふじ②			
48週	登録いちごA(!)					予約みかん⑧			
						ふじ③			
49週	登録いちごB(!)					予約みかん⑨			
						ふじ④			
50週	登録いちごB(!)					予約みかん⑩			
						ふじ⑤			

*(!)は調整の可能性有ります。

お知らせ 産地情報

登録いちご(島原自然塾)生育が遅れています

47週からお届けを予定していましたが、「いちご」ですが、本ニュース40週号でお伝えしたように定植後の残暑と雨不足によって生育が遅れており、最も早く定植したハウスで3日に1回程度の収穫がやっとの状況で、今週と来週の2週間の収穫予想は約60ケース(240パック)で、受注数の1割にも満たない状態となっています。(平年よりも2週間以上遅れている感じです)

このため、ごく一部を除いてA登録分はほぼ全量が欠品となってしまいました。(対象者には納品書にて「欠品」の表示をしています。)大変申し訳ありません。

◇現在の状況(11/25現在)



←一番早く定植したハウスの状態

赤い実がチラホラ見え始めた状態で、ほとんどの実は青い状態です。2反の面積がありますが、3日に1回拾いちぎりするのがやっとの状況です。↓下の写真は2番目に定植したハウスで、花に混じって実が見え始めた状態で、いちごが赤く色づくのは12月中旬くらいになりそうです。



*市場では12月になればクリスマスを中心にいちごの需要が高くなり、売り場にも多くのいちごが並んでいますよね。それらの早い時期の需要に対応する形で「株冷処理」が多く取り入れられています。株冷処理は、夜間に苗を冷房で冷やすことでいちごに「冬が来た」と勘違いさせて花芽分化を促進させる方法です。

株冷や加温等を駆使して安定生産を図った栽培が一般的となっていますが、高原氏は株冷処理も加温も行わない為天候の影響は受けざるを得ません。スタートは遅れてしまいましたが、年が明けてからの収穫量はいつもより多くなりそうです。農薬不使用の貴重な産直いちご、今しばらくお待ちください。